

(様式3)

令和3年度 しまねの公民館次世代参画支援事業 実績報告書

市町村名	松江市	公民館等の名称	宍道公民館
事業の目的	近い将来、地域を支えてくれるリーダーを継続的に育成するため、高校生を中心とし、中学生との連携と大学生の連携強化を目的とする。		
事業の内容	<p>○ターゲットとする世代 中学生～40代まで</p> <p>○地域の状況やターゲットとした理由 宍道地域には県立宍道高校と宍道中学校、及び幼稚園が隣接している。特に県立高校では高校魅力化コンソーシアム構想が始まり、より地域との関りが深くなりつつある。また、高校を卒業してからも、県外の大学の地域学部等に進学する生徒も増えて来ており、社会教育および「まなび」にたいしての経験が地域づくりに大きく役立つようになってきた。</p> <p>○事業の内容（日時、場所、参加者数、具体的な活動）を具体的にご記載ください。</p> <p>【呼び込むための活動】</p> <p>◆「宍チャレ！」～宍道町の皆さんあたたかい胸をお借りしますチャレンジ～ ※宍道高校OB（大学生）が企画、宍道高校生と地域の若者をつなげる活動。地域の若者と高校生のやりたいことを実現させることを目的とし、地域の方との名刺交換会とトーク会を実施した。（7月11日）宍道公民館にて</p>   <p>◆「生き方トーク@宍道」 中学生と少し先を行く先輩との対話を通して多様な価値観や生き方に触れることで、中学生自身の生き方やあり方を考えるきっかけとしてもらう。このことにより地域の大人と係ることで将来の地域づくり、まちづくりの参画を促進する。</p> <p>①「宍道の先輩ミーティング」の開催（宍道中学校）（9月16日） 宍道中学校2年生と地域の先輩3人が地域の先輩のライフチャートを基にトーク会を開催。本番の「生き方トーク@宍道」を理解してもらうために開催した。</p> <p>②事前研修（10月10日）宍道公民館にて</p> 		

③「生き方トーク@宍道」(10月17日) 宍道中学校にて

中学2年生(70名)と地域の大人(25名)が本音で語りあいました。進行は20代若者3名でアイスブレイクから入り、地域の大人とのグルーピングでライフチャートを基に特に、14歳から24歳ぐらいまでの経験を話し合いました。生徒たちは「今の仕事につかなかったら何をしていましたか?」など質問をしていました。地域の皆さんは「人生を振り返る良い機会をもらった。」「ありのままに生きる大切さに気付かされた。」など感想がありました。

大人も中学生も最後に一言宣言カード(Next Action)に思いや今から出来ることを書き込みました。



参画につながる活動

◆地域の方のプロフィール(名刺)を校内で紹介する。

現在28名の地域の方のプロフィールを宍道中学校と宍道高校に貼り出している。



◆高校生の「やりたいこと」の実施

「宍道高校生と遊ぼう!!」と宍チャレ!第2弾として「ちいさなネイチャーパークづくり」をキックオフイベントの実施(3月20日)

◆宍道高校の生徒たちと宍道の小、中学生たちと

一緒に雪合戦大会をして親交を深め、お互いのことを知る事業はコロナ感染拡大の為に中止となりました。

成果と課題  
今後の見通し

○期待する成果・効果

若者の持っているエネルギーを発散させ、夢や希望がかなえられる地域になることで、楽しい地域、生きることが出来る場所と思ってもらう。また、この事業を毎年実施することで、地域の若者の参画が増す。また、将来地域のリーダーになって帰って来るだろう若者と一緒にまちづくりを行えることを期待する。

○計画書に記載された「期待する成果・効果」をふり返って見られた成果や課題、次年度以降の見通しなどをご記載ください。

※令和4年度も成果及び効果を検証するため再度下記の事業を実施。

①宍チャレ!名刺交換会の継続実施。

②宍チャレ!第2弾「ちいさなネイチャーパークづくり」の実施

③「生き方トーク@宍道」令和4年11月20日実施

④地域の方のプロフィールの大人図鑑化する。登録人数を増やす取り組みを実施、地域全体で「まなび」をデザインする。